

平成 21 年度当初予算編成方針

1 平成 21 年度国の予算編成の動向

国の経済の先行きについては、当面、世界経済が減速するなかで、下向きの動きが続くとみられます。加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、景気の状態がさらに厳しいものとなるリスクが存在することに留意する必要があります。

個人消費については、現段階では、ほぼ横ばいで推移しておりますが、国際金融市場の動揺とともに、ガソリンをはじめとしての資源価格、食料品の価格も高い水準にあるなど、先行きの不安感から消費者マインドは下降しております。企業活動においては、鉱工業生産、企業収益ともに減少しており、中小企業製造業の業況判断は 3 四半期連続で前年を下回り、企業の業況判断は悪化しております。

こうした状況の中、国は平成 21 年度の予算の概算要求にあたり、「経済財政改革の基本方針 2008」を踏まえ、引き続き、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2006」に則った最大限の削減を行うこととし、平成 21 年度予算は、「基本方針 2006」で示した 5 年間の歳出改革の 3 年目にあたり、これまでの財政健全化の努力を今後とも継続することとしています。このため、引き続き歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、歳出の抑制と所管を越えた予算配分の重点化・効率化を実施し、基礎的財政収支の改善を図り、国債発行額についても極力抑制することとしています。

2 地方財政の状況

地方財政は、厳しい状況の中、歳出総額及び歳入総額で 7 年連続の減少となっております。(平成 18 年度決算)

平成 19 年度決算は、現段階で総額は示されておりませんが、傾向としては、前年を踏襲するものと予想されています。

また、これまでの公共事業・減税の実施等により、公債費や地方債残高が依然として高い水準で推移しています。公債費は 13 兆 2,511 億円、地方債現在高は 13 兆 596 億円(いずれも平成 18 年度決算)となっております。

財政構造の弾力性を示す、経常収支比率は 91.4% (平成 18 年度決算)であり、10 年前に比べて 6.6 ポイント上昇しております。そのため、地方財政は構造的にみて極めて深刻な状況であることから、これまで以上に簡素で効率的・効果的な行財政運営が求められています。

新潟県においては、平成 21 年度当初予算編成の考え方で、「県有資産の流動化、県債の活用等による財源の確保」「新潟県の課題に対応するため施策の選択と集中、事業効果の早期発現」などいくつかの編成上の視点を示しているほか、予算のフレームについては、事業費ベースで平成 20 年度当初予算とほぼ同規模を想定しています。

3 本市の財政状況

本市の平成19年度一般会計決算は、歳出総額で367億4千万円、歳入総額で380億4千万円となっており、前年と比較すると、歳入で31億1千万円、歳出で30億4千万円の減額となっております。(対前年比7.6%の減額)

地方債残高は一般会計ベースでは、平成19年度末で484億3千万円となっており、前年に比べて6億4千万円の増となっております。特別会計や水道事業会計の企業会計を含めた全会計では、平成19年度末で901億円となっており、前年に比べて22億7千万円の増となっております。これは、バブル経済崩壊後の景気低迷による収収不足に対応した国の施策による臨時財政対策債や合併建設計画事業による合併特例債などの臨時的な地方債の借入れが大きく伸びてきたことによるものです。

今後は、これら地方債の償還である公債費などの義務的経費の抑制を図りながら、景気回復が不透明な経済情勢、超高齢化社会や人口減少などの社会情勢を見据え、将来に向け「自立・持続可能な財政基盤の確立」に取り組んでいかなければなりません。

平成21年度の当初予算見込みにおいて、歳入では、その要である市税(法人市民税、固定資産税)が前年に比べて6億4千万円減収になることや、平成21年度の総務省の地方財政計画(概算時において)では、地方交付税が3.9%の減(出口ベース)で3億5千万円の減収が見込まれ、近年にない厳しい状況となっております。

歳出では、退職者の増による退職手当が2億6千万円増、公債費等が8千7百万円増など、義務的経費の増加が見込まれております。このことから、例年にない歳入不足となり、財政調整基金の繰入だけではこの歳入不足が解消できない状況となっております。

平成21年度当初予算編成では、歳入の確保はもちろんのこと、歳出については、事務事業の優先度、緊急度、費用対効果により徹底的な見直しをはかり、真に必要な事業かどうかも含めて、スクラップ・アンド・ビルドを行う必要があります。

4 概算要求状況及び要求基準の設定について

(1) 一般会計概算要求状況

平成21年度一般会計当初予算の概算要求状況は、歳入不足額が昨年の約3倍に当たる38億2百万円発生しました。

これを受け、政策評価会議において、対応策を審議した結果、各部署単位で、再度要求額の縮減を前提とした事務事業の緊急度、優先度、費用対効果の検証による見直しを実施することとなり、結果、見直し後の歳入不足額は、27億6百万円となり、10億9千6百万円縮減することができました。

歳入	35,396,113 千円
歳出	38,102,325 千円
歳入不足額	2,706,212 千円

(2) 要求基準と予算付け

見直し後の概算要求における歳入歳出の状況を政策評価会議に提示し、平成21年度当初予算要求における要求基準の設定方法について諮った結果、本要求においては、**見直し後の概算要求額（一般財源ベース）を上限額**として、更に、事務事業の緊急度、優先度、費用対効果を検証して、必要最低限の要求を行うこととしました。また、額の調整については、財政調整基金等各種基金の繰入れや、今後、詳細が明らかになるであろう国の地方自治体に対する経済対策の状況を踏まえて、次により査定することとします。

(3) 新規・臨時事業（市長査定案件）の選定と予算付け

見直し後の概算要求のうち、政策決定を要する134の新規・臨時事業を選定し、市長査定案件とすることとしました。

新規・臨時事業（市長査定案件）	
歳入	3,628,567 千円
歳出	5,068,309 千円
歳入不足額	1,439,742 千円

要求に際しては、**政策ごとに、優先順位を付して**、市長査定においては、最終的な要求状況を把握した中で、この優先度を勘案して、基金繰入れ可能額、また、国の経済対策の動向をみながら、予算付けします。

(4) 新規・臨時事業（市長査定案件）以外の事務事業の要求基準と予算付け

上記新規・臨時事業（市長査定案件）を除く事務事業の歳入不足額は、次のとおりです。

1,266,470 千円

新規・臨時事業（市長査定案件）を除く事務事業については、**見直し後の概算要求額（一般財源ベース）を上限**として要求することとします。

これについては、最終的な要求状況を把握した中で、財務課において、事業の緊急度、優先度、並びに過去の決算状況を勘案した要求となっているか等を確認しながら、企画政策部長が調整します。

なお、上限額を超えた要求があった場合は、企画政策部長の調整を経た上で、また、見直し後の概算要求にはなかった新規・臨時事業で政策決定を要すると判断したものについては、市長査定案件とします。

5 予算要求基準

【歳入に関する事項】

(1) 全般的事項

各種未収の税、分担金、負担金、使用料、手数料等の歳入金については、完全収納に努め、財源の確保に努めること。

(2) 国県支出金

国、県の動向に留意して、適正な予算見積もりを行うこと。

また、補助金の受入れに際しては、本市における必要性、適合性及び事業効果等を十分検討すること。

(3) 分担金及び負担金

負担率については、受益者負担の原則に基づいて、事業の性格、受益の限度等を十分検討した上で、適正に見積もること。

(4) 使用料及び手数料

事業との関連及び原価計算等を考慮して、使用料及び手数料の見直しを行うなど、受益者負担の原則に立った適正な歳入を見積もること。

(5) 財産収入

土地等の貸付料については、固定資産評価額等を勘案した適正な収入で見積もること。また、財産売払い収入については、処分価格、処分方法等法令に基づいた適正な収入を見積もるとともに、遊休財産等については、一層、処分の促進を図ること。

(6) 諸収入等

諸収入等については、一層の財源確保に努めるとともに、過去の実績等を参考にして適正に見積もること。

【歳出に関する事項】

(1) 全般的事項

固定経費について

すべて、一件審査の対象とする。

課内の業務効率化を更に推進し、臨時、パート職員等については、課内で流動的に活用するなど必要最小限の要求とすること。

運営経費について

各課等単位の概算要求額（一般財源ベース）を上限に要求すること。

事業経費について

施策単位の概算要求額（一般財源ベース）を上限に要求すること。

なお、評価対象外経費については、事務事業単位の概算要求額（一般財源ベース）を上限に要求すること。

「秋の施策企画会議」においては、事務事業の優先順位を明確にし、徹底したスクラップ・アンド・ビルドを実施することとし、特に社会資本整備事業においては、地区間のバランスと年次計画を再検討して、優先順位を決定すること。また、例年優先順位が低い事務事業については、廃止するのか、方法を変えるのか等、「行政評価システム」を最大限に活用し、検討すること。

新規提案事業の要求に際しては、意図と市が行うことの必要性を明確にするとともに、実施のためには、予算が必要なのか、人的な拡充が必要なのか、制度の改正が必要なのかなど、あらゆる可能性について検討すること。

【要求基準表】

区分	経費区分	要求上限額
通常分	固定	一件審査
	運営	各課単位に見直し後の概算要求額
	事業	施策単位に見直し後の概算要求額
新規・臨時事業	全経費	一件審査

（２）職員給与費

職員給与費については、一括、人事課で見積りの上、要求すること。

ただし、時間外勤務手当、宿日直手当及び特殊勤務手当は、別に定める様式により、担当課で見積りの上、要求すること。

なお、時間外勤務手当については、代休振替を活用するなどして、その節減に最大限努めること。

(3) 報酬

「新発田市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例」に基づき適正に見積もり要求すること。

【報酬の支給対象者】

- ・ 市議会議員
- ・ 執行機関である委員会の委員
教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、農業委員会、固定資産評価審査委員会の委員及び監査委員
- ・ 附属機関の委員及び構成員（法令及び条例に基づくもの）
- ・ 選挙事務に従事する選挙長、投票及び開票管理者並びに投票・開票及び選挙の立会人
- ・ その他非常勤職員（嘱託職員、民生委員、消防団員）

(4) 賃金

臨時、パート職員の賃金は、別途人事課から通知される賃金単価により見積もること。

また、要求に際しては、事前に人事課へ雇用協議書を提出すること。

(5) 報償費

報償費については、別途平成15年10月27日付行第255号で通知された「謝金の見直し方針」により適正に見積もること。

特に、会議出席に対する謝礼は支出しないこととする。

(6) 光熱水費

決算見込み額を精査して、適正に見積もること。

(7) 修繕料（工事請負費）

修繕料と工事請負費の科目の選定に際しては、修繕でも比較的規模の大きなもの（予定価格が概ね50万円を越えるもの）は工事請負費から予算要求すること。

また、施設の維持補修費については、建築課要求と重複しないよう調整の上要求すること。

(8) 食糧費

以下の場合を除いて、原則、一般職員の飲食に係る経費は予算対象外とする。

【予算対象経費】

- ・ 三役の代理及び随行に係るもの
- ・ 市議会議員の代理及び随行に係るもの
- ・ 行政委員会の委員等の代理及び随行に係るもの

(9) 委託料

委託料については、別途平成17年9月20日付行第222号で通知された「委託料見直し方針」により適正に見積もること。

特に、保守委託料については、修繕の実績を考慮して、経費節減の観点から委託料が妥当なのか、修繕料が妥当なのか十分に検討した上で要求すること。

(10) 補助金・負担金

補助金、負担金については、別途平成16年10月4日付行第221号で通知された「負担金、補助及び交付金の見直し方針」により適正に見積もること。

特に、対象事業の決算額における繰越金の状況等を勘案しながら、その必要性を十分検討すること。

なお、新発田市法令外負担金の対象となっている負担金については、別途通知する「負担金・寄付金等要望調書」により、一部事務組合負担金については、20年度当初予算額で要求すること。

(11) その他

その他の物件費等についても、従来からその節減に努めているところであるが、引き続き見直しを行い、さらに簡素合理化を図り徹底した節減に努めて見積もること。

また、施設等の維持管理費については、施設の現況、整備計画との関連及び緊急性、管理委託の必要性も十分検討のうえ適正な額を見積もること。

【特別会計に関する事項】

特別会計は、一般会計の予算要求基準に準じて要求すること。

なお、要求上限額は、一般会計からの繰出金で設定する。

6 任意性分析

概算要求時に作成した任意性分析は、全庁的統一を図るために財務課で一部修正したものである。事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを進めるに際して活用すること。

7 予算要求入力区分

下記の区分により要求入力をする事。

区分		要求区分	編成区分
歳出	一般会計	固定経費	当初
		運営経費	
	事業経費	2次要求	
特別会計	2次要求		
歳入	一般会計	全区分	
	特別会計	全区分	

8 予算編成日程

科目登録 11月13日(木)～11月25日(火)

予算要求入力 11月13日(木)～11月28日(金)

全経費(1次、2次要求とも)同じ入力期間とする。

通常の日は8:30～22:00まで要求入力が可能。

(最終日(28日)は15:00まで)

9 その他

その他予算編成事務に係る具体的な要求方法については、別紙「予算編成事務要領」による。